

プロジェクト名：ケニア国タナ国営農場建設計画

(調査期間：1990年1月～12ヶ月、担当業務：環境影響評価)

調査背景

タナ国営農場建設計画は、ケニア国最大のタナ河の河口に広がる広大な地域を開拓して、エステート方式による機械化稲作事業を OECF の借款によって実施するものであり、建設のみならず農場運営、環境保全等を含めた広範な分野でケニア側機関を支援している。当プロジェクトが位置するタナデルタは、タナ河がインド洋に注ぐ河口周辺に広がる大草原で、洪水期になるとほぼ全域にわたって冠水するために、人間がほとんど住み着かず、野鳥や野生動物の重要な生息地になっている。従って、こうした野生生物との共存を図りつつ、開発を行っていくことが本プロジェクトの重要な課題の一つとなっている。

調査概要

調査実施内容は、建設前ベースライン調査、環境影響評価、モニタリング計画の策定と調査の実施及び環境保全計画の策定である。実際には、ナイロビ大学、国立博物館、野生動物保護関連NGO等からの専門家によるチームを編成し、野生生物保護局やUNEPとの連携のもとに現地調査や計画策定作業を実施した。湿地帯や野生生物の保全に重点を置き、植生、野生動物、農業、畜産、水質、公衆衛生の各分野に関する検討を行い、貴重種の保全のために新たな植林計画等の提案も行った。

担当事項

- 建設前ベースライン調査実施チームの編成、並びに調査の実施。
- プロジェクトが環境に与えるインパクトの検討、並びに環境モニタリング計画の策定。
- モニタリング調査実施チームの編成、並びにモニタリング調査の実施。

